

行政視察報告書

民友クラブ 神谷文明

平成 29 年 5 月 18 日(木)～19 日 (金)

視察先 埼玉県入間市

5 月 18 日 (木)

【小中一貫教育について】



概要

入間市では、平成 21 年度より推進している子ども未来室事業の基本理念を踏まえ、小中一貫教育を平成 26 年度からすべての中学校区で始めた。そのねらいは、学校力を高め、豊かな人間性を育むことであり、平成 25 年度から 3 年間の予定で文部科学省の調査研究「小中一貫教育校における多様な教育システムによる調査研究」の委託を受けている。

目的

近接して立地し先進的に一貫教育を行っている入間市立東町中学校と東町小学校の取り組みを実際に見て、感じて少子化社会の到来に備えて、知立市で活かせる施策がないか調査する。

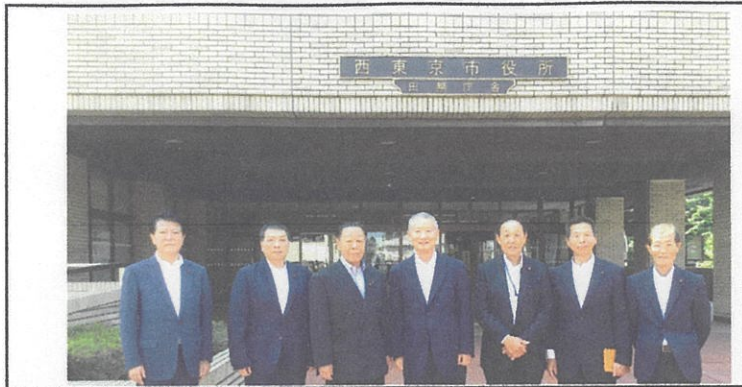
所感

平成 21 年度頃、いわゆる「荒れた学校」が市内に多くあった入間市が埼玉県教育委員会と相談し始めた事業であった。中一ギャップ、いじめ、教員の有効配置等で効果があると感じたが、少子化による小中学校の統合に関しての意見は、説明者が教員であることから聞くことができなかった。公共施設の立地適正化についても、別の部署の職員から聞きたかった。

視察先 東京都台東区

5月19日(金)

【下野谷遺跡公園整備について】



概要

下野谷遺跡公園は、平成27年に国の指定史跡となった「下野谷遺跡」を保存する公園であり、子どもが遊べる原っぱの地下に縄文時代の集落があり、当時の住居や墓などが発掘されずに残っています。西東京市立東伏見小学校の西の高台にあり、早稲田大学東伏見キャンパスを一望することができます。

関東南部でも最大規模の遺跡が、造成などされずに地下に残っており、復元された竪穴住居の骨格などを見て、はるか昔の生活に思いをはせることができます。

目的

知立市でも西中町の荒新切遺跡の整備事業が行われているが、その整備の参考にできればと考える。

所感

下野谷遺跡は縄文時代の環濠遺跡であり、国の指定遺跡にもなっている。遺跡の希少性、規模、価値などにより、荒新切遺跡の整備とは単純に比較できないと感じた。